

東関東アンサンブルコンテスト 出場決定！！

2024年12月20日に牛久市中央生涯学習センターにて、茨城県アンサンブルコンテストが行われ、フルート三重奏・クラリネット三重奏の2チームが出場しました。クラリネット三重奏が銀賞、そしてフルート三重奏が金賞をいただくことができました。また、フルート三重奏が茨城県代表に選出され、悲願の東関東アンサンブルコンテスト出場が決定しました!!

2年連続の出場となった県大会ですが、昨年度の経験を生かし、練習の段階から本番のステージを意識して練習に取り組んできました。本番は当然、緊張感がありながらも、それをカバーできるだけの練習を両チームとも重ねることができていました。今回このような結果につながったことはもちろん喜ばしいことです。しかし、地区大会を終えてから地道に努力し続けたことが、今回のパフォーマンスに発揮されたということもまた、今後自分たちの大きな力になると思います。さらなる成長を目指し、頑張ります!



何度見ても込み上げるものがある写真です。本当におめでとう!

編集後記

今年度、初めてのコンクール出場や、今回のアンサンブルコンテストと走り続けてきた水戸二高アンサンブル同好会。冬季休業前、最後の登校となった12月23日に新入生歓迎会を行いました。1年生のみんな待たせてごめん! (笑) (実は3年生の引退式もゆっくりできていません…必ずやるから受験がんばれ(>_<)!)

怒濤の2024年。応援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。

大切にしたチーム力

クラリネット三重奏は3人のうち2人が1年生というフレッシュなチーム。高校のアンサンブルコンテストを昨年経験した2年生が落ちついた様子で2人を受け止めながら、お互いに意見を出し合って練習に取り組んでいた姿が印象的でした。速いテンポの中で、リズムの"ノリ"をつかむことに練習の段階では苦戦していたように見えていましたが、繰り返し音を鳴らし、3人の息の合った一体感が生まれていきました。また、弱奏(*p*の表現)を追究し、クラリネットのその繊細な音色をコントロールしようと、最後まで突き詰めていたことが評価につながったことは、大きな自信になったのではないかと思います。

一方、フルート三重奏は2年生2人が1年生をサポートしながら非常に和やかな雰囲気練習を進めていました。「3人でご飯食べたときのレシートだ～」なんて会話も聞かれるほど、積極的にチームとしてのコミュニケーションを深めようとしていました。チームとしての強みはそれだけでなく、集中力の高さと練習の緻密さにあったのではないかと思います。二つのパートが連符で重なり合う箇所を、テンポの速度を変えながら毎日何度も何度も練習し、一本の音色に聞こえることを目指していました。自分たちにとって大きなことを成し遂げようとするその過程は、基本や地道な努力を大切にしているものでした。そこに黙々と向き合ったことが、最高の笑顔につながりました。